

令和7年度全国学力・学習状況調査結果(中学校)

中学校・国語

分類	区分	国語		
		久喜市	埼玉県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の内容	全体	56	55	54.3
	知識及び技能	49.4	48.5	48.1
	思考力、判断力、表現力等	54.2	54.3	53.2
	読書こと	55.4	53.7	52.8
	書くこと	62.7	63.6	62.3
問題形式	選択式	65.0	64.8	64.9
	短答式	73.3	74.0	73.3
	記述式	28.6	26.6	25.3

中学校・数学

分類	区分	数学		
		久喜市	埼玉県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	全体	49	50	48.3
	A 数と計算	42.8	45.0	43.5
	B 図形	47.2	48.7	46.5
	C 関数	48.6	48.8	48.2
	D データの活用	60.3	60.2	58.6
問題形式	選択式	55.6	56.0	54.0
	短答式	51.6	53.2	52.0
	記述式	40.3	41.3	39.6

中学校・理科

分類	区分	国語		
		久喜市	埼玉県(公立)	全国(公立)
全体	平均IRTスコア	484	502	503.0
全体	標準偏差	116.7	120.2	124.0

中学校・質問紙調査

質問紙調査概要

【その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)】(全国基準)

図 1. 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをもとめる活動を行っていますか

図 2. 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

図 3. 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

チャートの見方

領域番号	領域名
1 2	総合・学級活動・道徳
1 3	生活習慣
1 4	学習習慣
1 5	読書等
1 6	自己有用感等
1 7	向社会性
1 8	主体的な学習の調整

問 1. 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか

◆成果と課題 (○: 成果 ●: 課題)

国語	令和7年度 全国平均正答率との差	
	国語	数学
全体	△1.7	△0.7
学習指導要領の内容	言葉の特徴や使い方に關する事項	△1.3
	話すこと・聞くこと	△1.0
	書くこと	△2.6
	読むこと	△0.4
問題形式	選択式	△0.1
	担当式	0.0
	記述式	△3.3

※△: 全国平均を上回った ▼: 全国平均を下回った

○ 国語では、全項目で全国平均同等以上だった。特に「書くこと」「記述式」で全国平均を大きく上回った。昨年度全項目が全国未満だった数学でも、多くの内容で全国平均を上回った。特に「データの活用」で全国平均を大きく上回った。

● 国語では「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」「資料や機軸を用いたし方の工夫を提案することができるかどうかをみる」問題、数学では「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる」問題、理科では「化学変化に關する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかをみる」「スケッチから分かることを問うことで、スケッチに關する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる」問題で、それぞれ特に課題が見られた。調査結果から、児童生徒一人一人への「授業最適な学び」を推進するとともに、学習指導の改善・充実に向けて文部科学省・国立教育政策研究所から出されている「授業アイデア例」を活用し、学びの質的向上を図っていく。